

上野遺跡現地見学会のお知らせ

平安時代の集落跡と近世の下之切通り跡

青森県埋蔵文化財調査センターでは、今年4月から県道五所川原浪岡線交通安全施設整備事業に伴って、上野遺跡の発掘調査を行っています。このたび、発掘調査によって検出された集落跡や街道跡などを公開するため、下記のとおり現地見学会を開催いたします。この機会に是非発掘現場を見学し、郷土の歴史を振り返ってみてはいかがでしょうか。

日時：平成20年7月19日（土）
午前10時00分～11時30分
（10時受付、10時30分説明開始）
場所：青森市浪岡大字樽沢字村元159番地
上野遺跡（下図参照）
当日「現地見学会資料」を配布します。



～主な調査成果～

今年度の調査の結果、平安時代の集落跡（竪穴住居跡20軒、円形周溝、土坑、溝跡）及び近世の街道跡（「下之切通り（しものきりどおり）」の一部）が県道に沿って検出されました。大型竪穴住居跡から出土した9世紀頃の緑釉陶器片（りょくゆうとうきへん）は津軽地方では青森市新田（1）遺跡に次いで2例目の発見となる珍しいものです。また、下之切通りは羽州街道を分岐して浪岡から始まり、高野、原子を経由して、下之切といわれた飯詰以北を通り、小泊へと抜ける弘前藩の主要道のひとつでした。これらの発見により、上野遺跡が古代～近世の社会・生活を知るうえで貴重な遺跡であることが分かりました。



浪岡駅から徒歩で45分、自家用車で10分

主催・問い合わせ先：青森県埋蔵文化財調査センター 017-788-5701

上野遺跡発掘調査事務所 090-5232-2805・080-1846-3865